

科目責任者 小島 智章

■教育目的

この講義ではいずれ社会人となる者にとって必須の教養である日本の芸能(演劇、劇文学)に関する基礎的な知識を習得することを目的とする。古代から現代に至るまでの芸能の歴史を、同時代の社会状況や文芸思潮との関わりに注目しながら辿りつつ、日本の芸能の特質について考える。また、各芸能ジャンルを代表する戯曲作品を講読し、作品を多角的に鑑賞する素地を養う。

■学習到達目標

1. 日本の芸能についての基礎的な知識を習得する。
2. 芸能作品を多角的に鑑賞するための素地を養う。
3. 日本芸能史を日本文化史にまで広げ理解する。

■準備学習(予習・復習)

予習：講義で取り上げる芸能、作者、作品について、事前に概要を調べておく(30分以上)。

復習：講義内容の要点をまとめ、把握しておく(30分以上)。関連する文献を読み、舞台を鑑賞することが望ましい。

■授業形態

講義

■授業内容

No.	項目	授業内容	SBOコード
1	ガイダンス	講義の目的と概要	
2	日本の芸能の特質		
3	古代・中世の芸能		
4	能・狂言		
5	能・狂言作品鑑賞(1)		
6	能・狂言作品鑑賞(2)		
7	人形浄瑠璃		
8	歌舞伎		
9	人形浄瑠璃作品鑑賞		
10	歌舞伎作品鑑賞		
11	話芸		
12	近代演劇		
13	戦後演劇の諸相		
14	現代演劇作品鑑賞		
15	講義のまとめ		

■授業分担者

小島 智章(No.1~15)

■課題(レポート、試験等)のフィードバック及び成績評価方法

出席・小レポート(10%)。各期とも小レポートを5回課し、10点満点とする。

試験(90%)。学期末に90点満点の筆記試験を実施し出席・小レポート点を加算する。

■教科書

特に指定しない。講義の際に適宜プリントをテキスト及び参考資料として配布する。